

【2016年度の総括】

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	11,953	97.7	→
支出	13,998	96.7	↗
経常収支差額	-2,045	90.9	↘

評価：稼働率の低調により、予算は達成できず。



② 職員配置と研修（職員数は2017年1月現在）

正職員3名・常勤パート職員1名・非常勤パート職員2名の配置。正職員1名は、ウエルシアへほぼ出向し、もう一人の正職員は、10月より正式配置され「らふら」の店舗開設準備も併行して行ってきた。今後は、通所・訪問の両サービスに対して、どのように資源(人員)整備・配分をしていくか同定するのが課題。

③ 事業内容

人と人の関わりによって自分らしさやその人に備わる「力」が引き出されることへの支援(エンパワメントと自己実現【その前提となる居場所や、セルフエスティームの機会】)を提供するために、通所では、あえて固定的なプログラムは設けず、個別のニーズに基づく活動と、個別ニーズを折り合わせた集団活動を中心に展開。有意に他資源につながった利用者がある一方で、普段の活動に結びつくようなニーズの措定が困難な利用者もあり、居場所の提供以上の機能が果たせられていたか、評価が難しいところもある。「らふら」については、オープン時期がずれ込んではいないものの、着実に準備を重ねられてきている。

【2017年度の計画】

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	17,980	↑	就労支援ジョブコーチ派遣委託料 741万含む
支出	18,276	↑	職員3名(うちジョブコーチ派遣2名) + パート「らふら」改装工事備品など

② 主課題

つみきサテライト本体の稼働率の向上が最優先課題。また、訪問支援員の養成・確保や、通所支援における集団活動のマネジメント等が課題。また、「らふら」においては、店舗の改装や什器整備を早期に行うことと併せて(そのための予算確保も)、商品の発掘およびワークショップの充実が課題。

年間事業計画(予定)

--	--	--	--